

被告国・大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県及び三重県指定代理人（安西）

乙第43号証を示す

この陳述書はあなたが内容を確認したうえで、署名、押印されたものに間違いありませんね。

はい。

この陳述書の内容について訂正すること等ございませんね。

はい。

証人のご経歴、それからご担当の職務はこの陳述書に書いてあるとおりに間違いありませんね。

はい。

これから、[]における住基ネットのことについて伺って行きますけれども、まず、[]においては陳述書に添付してある[]住民基本台帳ネットワークシステム管理運用要領、それから[]住民基本台帳ネットワークシステム緊急時対応計画書というものが定められているんですね。

はい。

これらの規程というのは住基ネットに関係する職員の方には周知されていますか。

はい。

あなたはこれらの規程に定めてある何らかの役職に就いておられますか。

はい。

なんていう役職でしょうか。

主任操作者です。

管理運用要領の第8条に主任操作者という規定がありますけれども、ここに書いてある主任操作者ですね。

はい。

住基ネットを導入する際、[]において関係職員に対する研修というのを行われましたか。

はい。

どこが主催する研修でしたか。

ラスデック、大阪府等です。

その内容は、どういったものでしたか。

法令に関するものとか、操作、運用に関するもの等です。住基ネットの導入後、関係職員に対する研修が行われていますか。

はい。

それは、どこが主催する研修でしょうか。

[]です、主に。

その内容は、どういったものですか。

特に個人情報の保護とか、操作研修です。

今おっしゃった個人情報の保護という点について、もう少し詳しく教えてくださいいただけますか。

むやみやたらに検索しないこととか、主にそれですね。やたらめったら必要のないときに操作しない。むやみやたらに必要なものに対してシステム操作をしないということが一番大きなことです。

その住基ネット導入後の[]内部の研修というのは、どれくらいの頻度で行われているのでしょうか。

新任の担当者が来たときが、必ずやらないといけないんで、そのときにほかの人も若干入ったりもします。

研修に参加できない職員の方もおられると思うんですけども、それらの方についても研修内容は共有されるようにしていますか。

はい。

次に重要機能室のことについて伺います。[]では重要機能室を設置していますか。

はい。

重要機能室はどこに設置していますか。

それはセキュリティ上、ちょっと申し上げられません。

重要機能室について、入退室の管理は行われていますか。

はい。

重要機能室の入退室管理はあなたのご担当でしょうか。

いいえ。

どちらのご担当になるのでしょうか。

情報政策課が担当部署です。

重要機能室というのは施錠されていますか。

はい。

鍵は、どちらで管理しておられるのでしょうか。

先ほど申しました情報政策課です。

鍵を、どこに保管しているかご存じですか。

いいえ。

重要機能室に、いつ、だれが入ったかというのは記録されていますか
記録されてると聞いております。

あなたは担当でないので、それ以上の詳細はご存じないということですね。

はい。

住基ネットのコミュニケーションサーバ、CSと呼ばれるものですが
ども、これは重要機能室の中に設置されているんですね。

はい。

重要機能室の中にむき出しで置いてあるのでしょうか。

いいえ。

むき出しではないというと、具体的にはどのように置いてあるのでしょうか。

施錠されるラックの中に格納されています。

そのラックというのは施錠されているんですね。

はい。

鍵は、どなたが管理しておられますか。

セキュリティ責任者です。

具体的には、どちらにあるのでしょうか。

具体的といいますと、その鍵の置いてあるとこ。

はい。ラックの鍵のセキュリティ責任者というのは。

施錠されたところに格納しています。

それを管理の責任者は主任、課長ということでよろしいですかね。

はい。

CSはパスワードを入力しないと起動できないようになってますね。

はい。

CSのパスワードは、どなたが設定しておられますか。

私どもです。私どもが作ったものをベンダーが設定しました。

CSのパスワードについて、どういったものでなければならないとい

ったルールは定めていますか。

はい。

そのルールの内容は、どういったものですか。

桁数を長く、それと英数文字、普通の人には分からないような
組み合わせにしていくと。

それ以上のことは言えないということですかね。

はい。

CSはパスワードの入力のほかに、操作者識別カードを挿入しないと
起動できないようになってますね。

はい。

CSの操作者識別カードは、どこに保管していますか。

施錠できる場所です。

それ以上の詳細は言えないということですか。

はい。

CSの操作者識別カードというのは挿しっぱなしではなくて、使用す
るときだけ挿入するようにしていますね。

はい。

次にCS端末のことに付いて伺いますけれども、CS端末はパスワー
ドを入力しないと起動はできないようになってますね。

はい。

CS端末のパスワードは、どなたが設定していますか。

本体は私どもです。

では、使うときのパスワードは、どうなんでしょうか。

担当者それぞれが設定しています。

担当者とおっしゃったのは。

その使用を許された者です。

職員ですね。

はい。

その後者のパスワードについて、どういったものでなければならない
という基準は定めていますか。

一定の桁数以上ということで、できるだけ本人しか分からない
ようなものを入れる。だれにでも打ち破れるようなものは入れ
ないように。

それ以上の詳細は言えないということですね。

はい。

CS 端末のパスワードは各職員、操作する職員個人しか知り得ないようになっているんですか。

はい。

CS 端末のパスワードの入力のほかに操作者識別カードを挿入しないと起動できないようになっていますね。

はい。

CS 端末の操作者識別カードはそれぞれの職員ごとに担当業務に必要な操作権限だけ付与されていますか。

はい。

CS 端末の操作者識別カードは、どちらに保管していますか。

施錠できる場所です。

それ以上の詳細は言えないということですか。

はい。

CS 端末の操作者識別カードも CS 端末を使用するときだけ挿入するようにしていますね。

はい。

職員が操作者識別カードを挿しっぱなしで席を離れるようなことはありませんね。

はい。

CS について本人確認情報やシステムの情報のバックアップは取っておられますか。

はい。

バックアップは、いつ取っておられますか。

毎日です。

そのバックアップデータは、何に記録していますか。

磁気媒体です。

磁気媒体というのは具体的には何でしょうか。

取り外しできる磁気ディスクですから、何々ていうのを言っちゃ
うと、また保管しているのはこの辺だろうと分かるんで、あんま
り詳細はお答えできません。

その磁気媒体とお聞きしますが、それは、どこに保管しておら

れるんでしょうか。

施錠できる場所です。

それ以上は言えないということですか。

はい。

CS にはウイルス対策ソフトをインストールしていますか。

はい。

CS 端末には、どうでしょうか。

しています。

それらについてのウイルスパターンファイルの適用というのは定期的に行っておられますか。

はい。

CS には、住基システムや、今おっしゃったウイルス対策ソフト以外のアプリケーションというのはインストールされていますか。

いいえ。

CS 端末にはそれ以外のアプリケーションはインストールされていますか。

いいえ。

住基ネットに関するシステムの保守、運用について業者、いわゆるベンダーに対して業務委託を行っておられますか。

はい。

業務の再委託は行っておられますか。

はい。

再々委託は行っておられますか。

いいえ。

再委託について伺いますが、その再委託というのは、直接の委託先の業者が [] に断りなく行うことができるんでしょうか。

いいえ。

という、どう言った手順を踏むことが必要なんですか。

事前に承認を得るべく、だれそれを再委託さしてきてい
うて来るので、それに対して、こちらがそれが適当と認めた場
合は承諾する。

委託した作業が行われる際に業者のだれが来たかというのは確認しておられますか。

はい。

どういった方法で確認しておられますか。

社印章、名札です。

その作業の際に、だれが来たかというような記録はされていますか。

はい。

委託作業が行われる際には■■■■の職員の方は立ち会っておられますか。

はい。

次にCSとCS端末、それからインターネットとの間で相互に接続することは可能でしょうか。

いいえ。

それはなぜですか。

別ネットが構成されてますし、ソフトが入ってません。

最後にお伺いしますが、住基ネットの稼働後、現在までの間に■■■■の保有する本人確認情報について漏洩だとか、改ざんだとか、具体的な危険が生じたことはありますか。

いいえ。

原告ら代理人（掛樋）

先ほど主尋問で■■■■さんの役職等について聞かれていましたけれども、■■■■さんご自身はコンピューターのシステムに関する部署というのは現在の部署が初めてではないんですか。

はい。

初めてではない。

はい。

以前、具体的にどういうふうなコンピューターを触る仕事をされてたということでしょうか。

大型汎用コンピューターを昔扱ってました。

大型汎用コンピューターというのは現在住基ネットに使われているコンピューターと同じものなんでしょうか。

中央処理装置と言われるところが基本的には同じですけど、運用の仕方とかはかなり隔たりがあります。

そうすると、大型のそのコンピューターを使う部門におられたからと言って、住基ネットに使ってられるコンピューターのセキュリティー等

について分かっておられるとは限らないんじゃないんですか。

大型の時代から小型に入るときも数年いてましたので、その辺は一般の人よりはよく分かってるつもりです。

住基ネットの端末とか、CSに触るのは■■■■さんだけなんですか。

いいえ。

ほかの職員の方も触れるということでしょうか。

端末は、操作者権限がある人は、その操作については許されますから私だけではないです。

ほかの職員で住基ネットに関与する職員の方すべての方が■■■■さんと同じぐらいにコンピューターのセキュリティについては分かっておられるんですか。

いいえ。管理運用を担当してんのは私ともう1人だけです。あとは、本当の、なんていうんですかね、末端の操作員です。

乙第5号証の1の第3の(2)エを示す

乙5号証の1というのは総務省告示第三百三十四号から始まる文書ですけれども、こちら「電気通信回線を通じた送信又は磁気ディスクの送付の方法並びに磁気ディスクへの記録及びその保存の方法に関する技術的基準」と記載されてますけれども、以後ですね、簡単にセキュリティ基準というふうに述べます。先ほど8頁の(2)エというところなんですけれども、こちらにですね、「電子計算室及び磁気ディスク等保管室は、他の部屋と区別して専用の部屋とすること。」というふうに書かれてますけれども、これが先ほどおっしゃった重要機能室というものに当たるんでしょうか。

はい。

乙第16号証を示す

こちらは「住基ネットの個人情報保護対策」というタイトルがついている書類で、その後ろのほうに「住民基本台帳ネットワークシステム及びそれに接続している既設ネットワークに関する調査票による点検結果集計表」というのが載っていますけれども、こちらでも以後簡単にチェックリストと呼びます。そちらの、下のほうに5と書いてあるところで、「6-1」という項目があるんですけれども、「電子計算機及び磁気ディスク等を専用の部屋に設置している」ということが記載されていますけれども、こちらの専用の部屋、重要機能室に■■■■で

はCSサーバを設置しておられるということではないでしょうか。

はい。

重要機能室へのCSサーバの設置が必要とされるという理由というのは、どの辺にあるんですか。

むやみやたらに関係のない人間が、機器操作等をできないように隔離してます。

乙第5号証の1の11頁目の第4の(1)を示す

こちらは「住民基本台帳ネットワークシステムの管理」「入退室管理」「入室資格の付与」ということですが、重要機能室に入退室する人について入退室の管理を適切に行うことが要求されていますが、それでよろしいのでしょうか。

はい。

乙第16号証のチェックリストの5頁目を示す

そこに「7-5」というチェック項目があるんですが、そちらに「入退室を記録している」というチェックリストの項目があるんですが、重要機能室へ入退室者の記録がセキュリティ基準とそれからチェックリスト上要求されているということによろしいのでしょうか。

はい。

甲第36号証の16の1および2を示す

タイトルが「入退室管理簿」となっている書証ですが、こちらです、日付と入室時刻、退室時刻、で名前と所属、これは会社名だと思いますけれども、あと入室目的というものが記載されてますね。

はい。

ここへ業者の人が入った時間ですとか、目的を記載することによって委託業者の入退室管理をしておられるということになるのでしょうか。

はい。

現在もこういう形で入退室管理をしておられるということですか。

現在は■■■■の場合です。

違う形でやっておられる。

はい。

先ほどカードを使っておられるということをおられたかと思うんですが、それで、やっておられるということですか。入退室のログを取っておられるということですが、それはこの入退室

管理簿という形で記録を取っておられるというわけではないんですか。

このかっこうは、その仕組ができた部屋に入れたときに、これは終わりました。現在は機械上の、システム上の中でのログ取得になっています。

こちら入退室管理簿ですけれども、36の16の1、右肩にですね、「2004年度(05/01)」で、36の16の2のほうは右肩に「2004年度(05/02)」という記載があるんですが、こちら2005年の1月と2005年の2月という趣旨でよろしいのでしょうか。

そうです。

そうすると、これ以前、当然入退室の管理が必要とされてたと思うんですが、例えば平成16年12月であるとか、平成16年11月、それ以前には入退室管理簿は作っておられなかったのではないのでしょうか。

ええ、このかっこうのものは作っておりません。

甲第36号証の16の1、それから16の2には所属として、例えば「■■■■」とか「■■■■」というふうな記載がありますけれども、これは委託先の業者もしくは再委託先の業者ということによろしいのでしょうか。

はい。

ここに、そうすると、職員の方の入退室の記録というのが載っているんですか。

いいえ。

ほかに平成17年1月であるとか、2月に職員の方の入退室の記録というのは取っておられたのでしょうか。

いいえ。

甲第36号証の19を示す

こちら■■■■市議会の会議録なんですが、そちらの3頁目を見てください。その真ん中辺りにですね、「8番(■■■■議員)」の質問の項目があるんですが、分かりますでしょうか。

はい。

その4段落目、「ところが、先日」というところから始まる段落があるんですが、そこでは「住基ネットサーバのある部屋の入退室管理状況を確認するために、入退室管理簿あるいは作業日報を求め

たところ、その時々作業記録はなく、委託先業者がつくったという運用作業一覧表しかありませんでした。これでは情報セキュリティポリシーを遵守しているとは言えない」というふうな質問が行われているのはお分かりでしょうか。

はい。

平成17年1月から、入退室管理簿を作っておられたということですが、それはこの平成16年12月の議会の質問を受けて作られたということになるのでしょうか。

はい、そのとおりです。

乙第5号証の1の22頁目を示す

こちら、委託に関する場合の措置について「10」というところで定められているんですけれども、その(1)ですね、「住民基本台帳ネットワークシステムの開発、変更等について、委託を行う場合は、委託先事業者の社会的信用と能力を確認すること。」とありまして、続いて(2)で、「委託先事業者等に対する監督」として、「委託先事業者等に対しては、セキュリティ対策を実施させるとともに、適切な監督を行うこと。」と規定されていますけれども、この規定についてはご存じだったのでしょうか。

はい。

乙第16号証のチェックリストの6頁目を示す

「15-1」、「15-2」というところが6頁目にあるんですが、まず「15-1」では、チェックリストでは、「担当職員がセキュリティ設定の内容を把握している」ということを要求していますね。

はい。

「15-2」のほうでは、「委託業者が行ったセキュリティに関する設定内容が適切か職員が確認している」というふうに規定されていますけれども、ここでいう職員というのは■■■■でいうと■■■■さんに当たるといふことでよろしいのでしょうか。

このときの確認したのは私です。

委託業者のしたセキュリティ設定について■■■■さんは確認されておられるのでしょうか。

はい。ほぼ。

確認しておられる。

はい。

乙第5号証の1の13頁目を示す

第4の3の(2)というところなんですけれども、「ファイアウォールによる通信制御」という項目がございますけれども、こちらでファイアウォールによる通信の制御が求められているということではないのでしょうか。

はい。

そうするとファイアウォールでは、例えば、何番のポートを開けるとか、どういう通信を許可して、どういう通信は許可しないというような設定が必要になるということになるのでしょうか。

はい。

■■■■では、その設定は■■■■さんご自身がされているんですか。

いいえ。

だれがやっているのでしょうか。

これはベンダーさんにお願ひしました。

ベンダーさんというのは委託先の業者さんということでしょうか。

そうです。

その業者が設定している何番のポートを開けたとか、どういう通信を許可する設定にしたということを■■■■さんご自身は確認はされているのでしょうか。

ええ、確認はしました。

先ほどですね、主尋問で再委託はされているというふうにおっしゃっておられましたね。

はい。

再委託について■■■■と委託業者の間の委託契約書上では、どのように定められているかをご存じですか。

再委託は一般的には禁止してありますが、必要なときがあれば許可を与えて、オッケー、承諾をするというふうな状況になってます。

乙第5号証の1の22頁目を示す

左肩の番号でいうと、「10」の(3)というところには、「再委託の制限等」という項目がありまして、再委託の場合には「事前申請及び承認に関する事項を委託先事業者等と取り交わすこと。」というふ

うに求められているわけですね。

はい。

乙第16号証のチェックリストの9頁目を示す

チェックリストの「39-1」と「39-2」という項目を見ていただきたいんですが、「39-1」では「再委託を制限している」ということがありまして、「39-2」では「再委託時に事前申請及び承認を行っている」という項目がありますね。

はい。

これを一応遵守しておられるということになるのでしょうか。

はい。

甲第36号証の3を示す

タイトルが「再委託申請書」というふうになっています。平成16年4月1日付けの再委託申請書というものですけれども、これは委託先の会社から■■■■■に対して再委託を行いたいという旨の申請が出されたものだということでしょうか。

はい。

甲第36号証の4を示す

こちら同じ平成16年4月1日付けの再委託承認書ですけれども、こちらは、先ほどの再委託の申請に対して■■■■■のほうで再委託を承認したという書類でよろしいのでしょうか。

はい。

36号証の3と、36号証の4は今見ていただいたとおり平成16年4月1日付けですね、いずれのほうも。

はい。

そうすると、これ平成15年4月1日付けの再委託申請書ですか、再委託承認書というのは存在するのでしょうか。

私その辺は直接の担当じゃなかったんでちょっと分かりません。

こちらのほうですね、住基ネット稼働後の再委託申請書とか、再委託承認書について情報公開を求めたところ、出てきた書類が甲36号証の3と甲36号証の4だけだったんですけれども、ほかの年度について再委託申請書ですか、再委託承認書があれば、出しておられたんではないのでしょうか。

そうですね。だから、なかったものと思います。

そうすると、平成15年4月1日、平成15年度では再委託は行われていなかったということでしょうか。

その辺も私運用に特化してたんで、ちょっとその辺の詳しいところは分かりません。

甲第36号証の5を示す

平成16年12月24日付けの謝罪文という文書なんですけれども、こちらですね、作成者である株式会社■■■■■というのは■■■■■との間で委託契約を結んでいる会社ということで間違いないでしょうか。

はい。

そちらが出したものですが、内容としては「私は、■■■■■殿から指摘のありました平成15年度『住民基本台帳ネットワークシステムの構築委託契約』の履行にあたり、再委託申請を行わずに『株式会社■■■■■』に業務を行わせたことにつきましてはご指摘のとおりでございました。ここにご報告申し上げると共にお詫び申し上げます。」という内容の文書なんですけれども、こちらは委託先である株式会社■■■■■が事前の承諾なしに株式会社■■■■■に再委託の契約をしていたという趣旨で出された謝罪文ではないんですか。

うん。これを読む限り、そうですし、そうであれば存在しなかったということが事実だということです。

この36号証の5が提出された平成16年12月24日より以前にですね、大阪の堺市でやはり富士通が事前の承諾を得ずに関連会社に再委託をしていたことがマスコミなんかでも取り上げられて話題となったことというのはご存じでしょうか。

はい。

先ほど見ていただきました平成16年4月1日付けの再委託申請書と再委託承認書ですけれども、こちらは堺市の件がマスコミで騒がれることになったことがきっかけで■■■■■でもこのような事前の承認書を取られるようになったというふうなことではないんですか。

ごめんなさい。私本当に契約のほうはあんまり分からないんですけど、推測でものを申し上げられないんで。

のほうで事前の承認書を取ったりとか、承諾書を出すようになったのは堺市の件がマスコミで騒がれることになったことがきっかけではないんですかという質問について、分かるのであれば、お答えいただいて、分からないのであれば、分からないとお答えください。

堺市のがきっかけだったと個人的には思いますけど、それ以外にもやっぱしセキュリティを上げて行かないといけない、きっちりした明文化のものはきっちりして行かないといけないというのが元々あるんですよ。やっぱし、その辺から出たもので、堺市が直接の起因になったんじゃないと思いますけど、はずみに、何個か集まってきたんで早いにやらないといけないというのはあったと思います。

原告ら代理人（坂本）

先ほど主尋問の中で、CS住基のコミュニケーションサーバにウイルス対策ソフトを導入していると、こういうことでしたよね。

はい。

ウイルス対策ソフトには最新のパターンファイルの適用を定期的に行っていますと、こういうことでしたよね。

はい。

ウイルス対策ソフトというのは新種のウイルスが現れたときには、その新種のウイルスが、どんなウイルスかというのを適用してあげないと排除してくれないので、そういう新種のウイルスに対応するために最新のパターンファイルを適用しないとといけないと、こういうことですよ。

はい。

それ以外に、いわゆるパッチを当てる必要もあると思うんですけど、それは当てていますか。

はい。

CSに対して最新のパターンファイルを適用する、あるいはマイクロソフト社が発表したセキュリティホールに対してパッチを当てる、そういう対策は各市町村が独自の判断をするんですか。それとも、ラスデックから指示があつてするんですか。どっちですか。

ラスデックからの指示で行います。動作確認しないといけないんです。

そうすると、ラスデックのほうから定期的に「最新のウイルスパターンファイルです。これを適用してください」という指示、あるいは「新たに発見されたセキュリティホールに適用すべきパッチファイルです。これを適用してください」という指示が定期的にあるわけですか。

はい。

ウイルス対策ソフトに最新のパターンファイルを適用するためにはパターンファイルをだれか作らないかんですよ。

はい。

それはラスデックが自分で作ってるわけじゃないですよ。

ええ。

ウイルス対策ソフトを作っているメーカーが「これが最新のパターンファイルです」というて発表したものをラスデックにおいて動作確認をして、配布するんですよ。

はい。

そうしますと、ウイルス対策ソフトを作っている会社が最新のパターンファイルを発表してから、その日のうちにラスデックから各市町村にも配布があるのか。それともウイルス対策ソフトのメーカーがパターンファイルを発表してから何日か、あるいは何週間か、置いた後になって、ラスデックから配布されるのでしょうか。どっちですか。

何日かのタイムラグはあります。

そうしますと、メーカーとしては、もうすぐに適用すべきだということで発表した最新のウイルスパターンファイルが各市町村のCSに適用されるのは何日かの時差があると、こういうことになりますよね。

はい。

そうすると、その何日間かの間は、その新種のウイルスに対しては、CSのウイルス対策ソフトは排除できない。こういうことになりますよね。

ただ、住基ネットのシステムはむき出しじゃありませんから、最新のパターンファイルが当たるところの、なんていうか、もうちょっと下層というか、奥にありますから、特にすぐ当てないといけないということはないと思います。

そこは、また、取りあえず置くとしてですけど、何日か差があると

うことで間違いないですね。

はい

裁判長

先ほど原告代理人から、ウィルスの関係でパッチとか、パターンファイルについて作成後、実際に■■■■までその情報が来るのにタイムラグがあると、そういう話がありましたよね。その際にタイムラグがあっても大丈夫なんだという趣旨の発言を途中でされかけたと思うんですけども、これちょっと続けてお願いできますか。

元々、住基ネットは、奥に、ネットワークが別に構成されてまして、むき出しに外敵からの危険にさらされているというところには原則的に置かないようになってるんです。それで、インターネットと接続してるようなところについては外からウィルスがやって来るんですけども、逆に奥にあるものは、その外側に向いてるところは常にまめに、日々できるだけ早く更新するというシステムになってるんですけど、住基ネットは動作確認の都合上すぐに掛けることはできないんですけども、その外敵に対してむき出しにあるシステムじゃないんで、その少々タイムラグは認めていいものかなあと。要するにシステムをどの辺に構築して、どういうふうにセキュリティを掛けて行くかというのは、ちょっと難しいんですけど、バランスを取っていかないといけないんです。だからネットワーク全体の中のバランス、■■■■でしたら■■■■のネットワークの中で、どの位置にあるから、この辺は後でもオッケーだとか。常にそういうものが来たら全部に掛けないといけないじゃなくて、むき出しのところは速やかに掛けて行かないといけないけど、中のほうはそのタイムラグというのは当然起こってくるんで、守るような仕組みで構築されてます。だから決して住基ネットがむき出しなんで、毎回せつせ、せつせと掛けていかないといけないということはないと思いますし、それはいろんなセキュリティの先生方が書いてる文でも当然そうなんです。だから一般的にすぐに掛けないといけないのはもうむき出しのところ、インターネットに接続してる場所はそうしないといけないです。だから家庭のパソコンなんかはインターネットにつながってたら、

それをまめに掛けとかないとやっぱしやられてしまう、危険性が高くなります。

甲36号証の5の謝罪文ていうのを覚えておられますか。

はい。

この謝罪文が出された経緯ていうのは証人はご存じありますか。

うっすらとは聞いてるんですけども、直接その契約にかかわってなかったんで、その詳しい何かていうのはないです。私はどっちかいうと運用管理担当でそのこの部署に入ったんで、どっちかいうとそちらの。

原告ら代理人(秋田)

乙第16号証の5頁目を示す

これ見ながら、住民基本台帳ネットワークシステム個人情報保護の取組というシステムの構成部ですね、先ほども見ていただいたんですけども、今、裁判所のほうから、例えば、マイクロソフトのセキュリティホールの緊急対応、パッチですね、タイムラグが生じることについてご質問があったんですけども、昨日も緊急警報という、たくさん出てましたけれども、今、パッチの問題として、■■■■さんきちっと対応されているんで■■■■の問題のセキュリティは大丈夫だと確信されてると思うんだけど、その根拠としてね、今インターネットとの接続の部分非常に重視されてお話しいただいたと思うんです。で、ただ、中の話ですね、つまり■■■■に置いてあるCSサーバ、あるいはCS端末、それからファイヤアウォールを介して都道府県CSサーバ、それからラスデスクのCSサーバが、これは電子回線と、それから基本ソフトはウィンドウズでつながってるわけですね。その設定として、そのウィンドウズの上で内部での不正をチェックしようということプログラムが組まれていると思うんですけども、仮にウィンドウズの表、OSに非常に重大な欠陥があって、その内部の、不正使用のことを、まあ■■■■はないと思いますけども、どこかで内部の方が不正使用をした場合のことを考えると、常にタイムラグが生じると。ウィンドウズのセキュリティ、重大なセキュリティホールがあるということは、これは危惧せざるを得ないのではないですか。

ごめんなさい。ちょっと分かりにくかったですけど。

今ね、ウィンドウズのセキュリティホールのパッチ処理をするのに一

定の期間が開いても、そんなに心配がないんですよというご説明をしていただいたんですが、それはインターネットの接続との関係で、つまり外部ですね、とのネットワークとの接続の関係ではおっしゃられたとおりだと思います。ただ、一方で住基ネットは内部、この先ほどの構成図でいうと、一番左端の既存住基システム、専用ファイアウォールを介したうえでのCS、ここから中ですね、その右側のラスデスクが指定した監視のファイアウォールを通して専用回線につながって行くわけですね。その各CSコンピューターのプログラムのOSは皆ウィンドウズなので、その内部での不正処理とか、内部での不正アクセスとかいうことも当然監視をしないとイケない。そのときには、でもその基本のOSのウィンドウズに重大なセキュリティホールがあると、それはそれでやはり危惧、問題が生じる可能性があるということになりませんか。これはもう理屈の話ですけど。

それは内部から、だれかがそのウィルスを持ち込んで、なんらか接続して中から広めるという意味合いのことですか。

そう。内部というのはほかの自治体もあるでしょうし、都道府県の操作者もあるでしょうし、ラスデスクの操作者もあるでしょうし。

一般的に内部の人間とすれば、私と管理運用担当、■■■■に例えて言えば、私ともう1人がそれをやる力はあるていうか、してしまうていうか、できますというとおかしいですが。私はだから、内部犯行でしかないです。

■■■■さんはありえないです。証人のここに来られるような方はありえないけれども、全国、今3000切りましたけれども、自治体の担当者の方、これ操作できる方、何万もいらっしゃいますよね。それから都道府県でも何百人、1000人いらっしゃるかなあ。無数の操作者の方がいらっしゃって、そのウィンドウズの重大なセキュリティホールの間隙を突くということも理論上は可能ですよねという。

理論上ですね、まあ首をかけてというか、自分の生活生命をかけてまで悪さ、なんかの恨みがあるていう以外は。理論上はできます。理論上は内部からでしたら可能です。それも管理権限ちゃんと持っている人に限られますけど。

被告国・大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県及び三重県指定代理人（安西）

今の点についてですけども、内部の方の不正操作については罰則が定められていますね。

はい。

各市町村との内部でも何らかの処分がなされるんでしょうね。

はい。

あなたは今、原告代理人が指定したような不正操作というのは少なくともあなたご自身は絶対にしませんね。

はい。

裁判官（芥川）

先ほどの主尋問で、CSのほうにパスワード設定をされているということでしたが、これは定期的にパスワードを変更したりとか、そういうことはされてるんですか。

定期的にといいか、必要があると認めるときですけどね。だから、何月何日から、何月何日になったら必ずそれをやらなければいけないというんじゃないで、ある程度パスワードが人の手に渡りますよね、いろんなことをした、それで多くなってきたら変えて行かないといけない。だから、何の作業も発生しなくて、パスワードを知ってる人間が私ともう1人だけでずうつといてるなら、そんなに変える必要は少なくなるという、だから定期的ていうのか、どうかなんですけど。

実際に■■■■さんがこの住基ネットの管理にかかわられてからは変更されたことはありますか。

したところもありますし、してないところもあります。

CS端末の本体については、どうですか。

CS端末については、アプリというか、本当に住基ネットの中の作業があるだけなので、操作者についてはその都度セキュリティ上げるようにということなんです。特に定期的ていうのは、先ほどと同様ないです。ただ、必要としてやっていけないといけないなという状況になったときはやっていっています。

以上